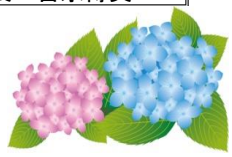


不知火っ子だより　第６号

平成 29 年 6 月 15 日　文責 校長　吉永博美

校舎の改修工事開始に伴い、一部の通学路を変更します。東門は使えません。



来週からいよいよ校舎の改修工事が始まります。大きな被害を受けた３階部分を撤去するとともに、柱や壁の補修等を行い、教室として使えるようにします。工事に伴い大型の工事車両が東門から入ることになりますので、児童の安全確保のため、児童は東門から出入りをしないようにします。詳しくは別紙でお知らせしますが、これまで東門を使用していた地区は、正門、または南門からの出入りとなります。また、登下校以外でも児童の安全確保には最大限の配慮をしていきたいと思います。工期の目安は、１０月初旬ぐらいまでですが延びる可能性もあります。工事終了まで、子どもたちが安全に登下校できるようご協力をお願いします。

6月20日(火)は、オープンスクールデイ

2校時～4校時(9:40～12:15)の間自由に参観できます。ご都合のつかれる時間にどうぞおいでください。6月は「心の絆を深める月間」の取組の一環として「命を大切にする心を育む授業」も公開します。お待ちしております。

学校でも家庭でも大切にしたい「学びに向かう姿勢」





＜勉強道場＞

★シャツを入れる

★かかとをふまない

★名札をつける

～これ当たり前～

←これは、本校の多目的室（算数少人数教室）の入り口にあるものです。また、子どもたちを励ましたり、気付きを促したりする格言名言を「今日の一言」として一緒に掲げてあります。担当の岩崎幸一先生の取り組みです。３、４年生の算数の授業は、学級を２グループに分け、担任（教室）と岩崎先生（算数少人数教室）で行っています。子どもたちは、この教室に入る前にこれらのメッセージに促され、身なりとともに、心も整えて授業に向かいます。

学校では、授業の効果をあげるための基盤として、心地よい緊張感を大切にしています。教室の中で学習ルールやマナーが守られている状況では、心地よい緊張感が生まれ、子どもには学ぶ姿勢が整えられます。ご家庭ではどうでしょうか、毎朝、登校までに学びに向かう姿勢は整えられているでしょうか。適切な睡眠時間、朝ごはん、学習用具など、学びに向かう準備ができていると、子どもたちはいきいきと学習に取り組む姿勢ができます。子どもたちの可能性を引き出し、成長させるために、学校でも家庭でも学びに向かう準備や姿勢を大切にしたいものです。

※学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。